

団体名	琉球大学						
事業名	SDGsグローバルイノベーション地域交流事業						
実施期間	令和4年7月9日-令和5年1月8日						
場 所	西原町、南城市、琉球大学						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	43名	12名	41名	15名	8名	70名	189名

### <実施内容>

本事業は、本学「グローバルリーダー育成プログラム」における留学生の多様な視点を活用し、地域住民、日本人学生との協働により本学が推進するSDGsの、特に4「質の高い教育」、8「労働環境と経済成長」といった島嶼地域ならではの喫緊の課題解決のための、持続的な観光マネジメントを中心としたイノベティブな企画に取り組んでもらい、留学生による地域振興に資する貢献を促進させました。

グローバル・リーダーシップ・プログラムにおける国際共修科目「グローバル実践研修」として2回実施された南城市での観光モニタリングにおいては、コロナ感染症対策を万全に整え、対面で実施されました。専門家による、観光産業についての講義を受けた後、留学生と日本人学生がチームを組んで、南城市の観光スポットを实地見分し、南城市、南城市観光協会、南城市インバウンド事業関係者に向けて、新しいアイデアのツアープランを英語でプレゼンテーション。南城市の特徴を活かしつつ、グローバルスタンダードを満たす持続可能な観光に向けて、外国人としての的確な評価、指摘を含んだ提案がなされ、活発な意見交換となり、意義深い地域交流・貢献となりました。

また、「グローバル実践演習」の一環として実施された「グローバル・フェスティバル」においては、フェスティバルの運営、多言語による各国の文化紹介、ゲーム、ヒューマンライブラリ、各国の歌やダンス、伝統芸能のステージ、加えてイスラム文化、キリスト教文化のブースといった企画が留学生、日本人学生の協働によって実施され、地域交流活動を継続している西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト(NS2BP)のサポートも受けながら、多面的な交流となりました。

この事業の実施により、特に南城市の観光協会が、留学生の提言によって海外への事業展開意欲を促進させたこと、SDGsの教育プログラムとしての意義を大学内のみならず地方自治体にも広く認識させたことは大きな成果であり、今後の沖縄県の教育、経済の振興にとって大きな波及効果が期待されます。

### <記録写真>



グローバル・フェスティバル

南城市研修

### <参加者からのコメント>

モニカ・アンドレアさん(ルーマニア)/Monica Andre 穂葉 環(アキバ タマキ)さん(日本)/Tamaki Akit

本プログラムに参加でき、とても貴重な機会となりました。今回の研修を通して、より具体的なリーダーシップ・スキルを身に着けることができ、将来の職業に役立てることができると思います。南城市のプロジェクトではチームをまとめる重要性和共に難しさにも直面しました。またグローバルフェスティバルにおいてはPRを担当し、その経験が日本語と英語によるオンラインによる積極的発信に結び付きました。異文化交流の場を提供することによって地域の人々に多様性を体験してもらおうことができたと思います。企画をくださった先生方、また参加者の方々、そして一緒にチームワークをした日本人学生の皆さんに感謝します。

南城市グローバル研修では、普通の教室での授業と一緒に受ける以上に留学生との距離が近く、仲も深まり、とても有意義な時間を過ごすことができました。Nバスを使用し、南城市を1日中実際にグループメンバーと観光している際に、それぞれの国の風習などの話をしたり、国際交流もすることができ、新たな知識を得ることもできたのが良かったです。ハルトプライズ琉大の講義では、ファッション業界の課題解決という大規模な社会問題について、どうしたら自分たちの身近な問題に落とし込めるのか考えました。将来起業したいと思っているのですが、その際に必要となってくる課題設定能力がここで少し身についた気がしてとても良かったです。

英語名称(英語版作成用)

団体名	University of the Ryukyus
事業名	SDGs Glocal Innovation in Island Region Exchange Program